

きら☆サポ通信

発行：富士見丘小学校学校支援本部

平成 27 年 12 月 25 日 No.8

「きら☆サポ」とは、「きらきらひかる子供たち」を支える「きらきらひかるサポーター」という意味を含めた富士見丘小学校 学校支援本部の愛称です。

【12月の学校支援本部活動を紹介します】



土曜授業に多彩なゲストティーチャーを紹介

12月12日は各学年に様々な分野のゲストをお招きして土曜授業が行われ、学校支援本部は3年生と4年生の授業に協力しました。

3年生は毛筆の授業でした。教えてくださったのは、本校の元校長先生、宮絢子先生と、宮先生が主宰される書の会の方々です。7名が来校されました。3年生から始まった毛筆の学習。この日は、書初めの課題「はつ日」の文字を練習し、みんな真剣な表情で取り組んでいました。

4年生は総合〈高齢者理解〉の授業を体育館で行いました。浴風会から、相談員とケアワーカーのお2人に来ていただき、お話をうかがいました。スライドを使った説明と、「年をとるってどういうこと？」の事前授業に連動して児童に質問を投げかける場面などがありました。浴風会との交流は今後も続く計画です。

3時間目は、富士見丘中学校と合同での地域清掃でした。昨年度から始まった小中連携の活動です。中学生と一緒にグループで行動するのは5、6年生ですが、低学年は校庭、3年生は浅間橋公園、4年生は浴風会南側歩道を担当して、大量の落ち葉を拾い集めました。支援本部からは6名が参加し、児童が安全に活動できるよう見守りました。



演劇ワークショップ

文部科学省に申請し実施している『児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験事業』が12月21日（月）、22日（火）に行われました。5年生対象の2回目と3回目です。これで、今年度計画されていた全12回がすべて終了しました。内容は、カードを使った劇づくり。児童は6～7人で1グループとなり、各グループに講師がついて活動します。目的は〈コミュニケーション能力の育成〉ですから、どうすれば上手な話し合いができるのか、他者の意見を聞き、自分の考えを伝え、協力して一つの作品を完成させるためにどんな行動をとればいいのか…。講師のアドバイスを受けながら、頭と身体をいっぱい使って課題に取り組みました。



「2015すぎなみ教育シンポジウム」に参加しました

12月19日（土）、高井戸地域区民センター・体育館で、杉並区教育委員会主催のシンポジウムが開催されました。今年のテーマは〈学校支援本部〉。学校の応援団として区内の小中学校に学校支援本部ができて10年ということで、これまでの取組を振り返り、次の10年を展望するという内容でした。学校関係者、地域協力者、支援本部員、また他地区からも参加があり、情報交換とディスカッションで盛況な会となりました。

【12月の花マル先生活動日】4回

【12月の基礎基本タイム丸付け】2回

【学校支援本部】メールは→fujimishoushien@bz03.plala.or.jp

電話・FAXは→03-5941-8967

「きら☆サポ通信」は富士見丘小学校学校支援本部の活動をお伝えします。